

前橋市が新たに取り組む再資源化対策



| 回収ボックス設置場所 | |
|-----------------------|-----------------------|
| 設置場所 | 利用曜日・時間 |
| 市役所、各支所・市民サービスセンター | 月曜～金曜、午前8時30分～午後5時15分 |
| 総合福祉会館*1 | 午前8時30分～午後10時 |
| 児童文化センター*2 | 火曜～日曜、午前9時～午後4時30分 |
| ペイシア電器前橋モール店(上泉町) | 午前10時～午後7時30分 |
| ペイシア電器前橋みなみモール店(鶴光路町) | 午前10時～午後8時 |

*1 第2日曜、年末年始を除く
*2 第2木曜日(休日の場合は翌日)、年末年始を除く
※施設の事情などで利用できない場合があります。詳しくは各施設に問い合わせてください。

小型家電リサイクル法がことし4月に施行され、前橋では10月1日から、環境省実証事業として「小型家電回収ボックス」を設置するなどの取り組みを始めました。開始から1カ月。市役所ごみ減量課に、その回収事業の実態を取材しました。

担当は市民編集委員 周東・齋藤

問い合わせは ごみ減量課 ☎027-898-6272

□求められるリサイクル推進
新興国での需要増大に伴う資源価格の高騰や、最終処分場のひっ迫などから、資源の有効利用の必要性は増しています。今まで「ごみ」として排出・埋め立てられてきたものの中には、レアメタルなどの貴重な資源を含むものもあり、その活用は急務です。こうした状況で、新しく始まったのが小型家電回収事業です。今までも、ごみの分別や古紙・古着回収などに力を入れてきた前橋市。この事業にも熱意を持って取り組んでいるようです。

□黄色い回収ボックスが出現
前橋市では、上表のとおり市内の施設に、投入口が縦15

排出品目が多いのは、回収ボックスではノートパソコン。清掃工場に持ち込まれたものでは、デスクトップパソコンや扇風機、電子レンジなどです。「1カ月間の反応は良いと思います」とごみ減量課の

担当者。こうして回収されたものは、環境省認定の中間処理業者に引き渡され、専門処理されます。その後、製錬所などで金属を取り出し、材料として使用します。

□ごみの山は宝の山!?
市は、3月までの実証結果を踏まえ、4月からも事業を継続していくとのこと。使用済小型家電は「都市鉱山」とも言われ、特に「携帯電話」には多くの貴金属が含まれていると聞きました。これまでは無駄な使い捨てであった商品の多くがリサイクルされ、新たな製品としてよみがえる時代になりました。その時代に即した商品の選び方と捨て方が重要なかもしれません。押し入れや部屋の片隅に眠っているごみが、再資源化され公共の財産になれば、市民にとって有益です。また、埋め立てするごみの減量化にもつながります。

□広がるリサイクルの輪
回収開始から1カ月が経ち、問い合わせの多さからも市民の関心の高さがうかがえます。荻窪清掃工場では、小型家電回収コンテナや携帯電話回収箱を確認し、プラスチック容器の分別作業を見学しました。忍耐のいる手作業です。事業継続には個人情報保護対策、再資源化処理にかかる費用と資源回収率のバランスといった課題も残ります。しかし、新たな法の制定と市の取り組みは「全てのごみの減量化」について考える契機。課題解決には「正しいごみの出し方」が不可欠と感じました。いずれにせよ市と市民が協力しなければ、どんな目標も実現されません。他市に先駆けて検証を始めた前橋市。そのリサイクルの輪に今後注目し、その成果に期待を寄せます。

編集後記
ごみのマナーを守ることで、ごみ減量はもちろん、利用できる資源も増えます。「ちょっと面倒くさいな」と思うのは一瞬です。ごみを完全に出さないことは無理でも、減らす努力を始めていきましょう。